

いじめ行動を特定する

いじめ行動は一目瞭然のものから隠れたものまであり、気がつきにくいときもあります。次の問いはお子さんがいじめの被害者かまたは加害者かを特定するのに役立ちます。

- お子さんは粗末に扱われていると文句を言っていますか？
- 態度の変化の兆候に気づきましたか？
- 不眠、不安、食欲の低下が見られますか？
- 突然怒り出すことがありますか？ 朝になると気分が悪くなりますか？
- 兄弟姉妹に対して以前に比べ攻撃的ですか？
- 外出したがる、または外出を怖がる、通学路を変更したがる、学校を休みたがることがありますか？
- 特別はっきりした理由もなく学校を中退することを口にしますか？
- 帰宅時に破れた衣服、原因不明な傷、新しい衣服や物品、説明できないお金などが見受けられますか？
- 他の生徒の行動に対して、学校から懲戒処分を受けるかもしれないような態度をとっていることを、話しませんか？
- 成績が急激に下がりましたか？



リソース

教育省を始め提携機関は、BC州の学校の安全維持対策を目的として学校と父母の方々戦略を作成できるように様々な資料を提供しています。

Safe, Caring and Orderly Schools [安全で、思いやりのある秩序ある学校]のウェブサイト:

www.bced.gov.bc.ca/sco/resources.htm

次を検索してください。

- **Safe, Caring and Orderly Schools: A Guide**
- **Diversity in BC Schools: A Framework**
- **BC Performance Standards for Social Responsibility**
- **Provincial Standards for Codes of Conduct**
- **Safety and the Internet**
- **Call It Safe** – BC Confederation of Parent Advisory Councils (BCCPAC) が開発した父母向けのガイドブックで、いじめ行動の特定と対応方法を説明しています。

BCCPAC Advocacy Project [BCCPACアドボカシープロジェクト]

BCCPACは父母の間並びにBC州学校制度内で子供の権利擁護を行っています。1-888-351-9834 または www.bccpac.bc.ca

Youth Against Violence Line [年少者暴力反対ライン]

YAVLine は子供、年少者、父母の方々に対し内密で支援と情報を提供します。1-800-680-4264

または info@youthagainstviolenceline.com

いじめは成長過程で身につけた行動であり、より建設的な行動と置き換えることができます。



Keeping Kids Safe from Bullying, Harassment & Intimidation [Japanese]

いじめ、嫌がらせ、脅迫から
子供たちを守るために



協力して安全な学習環境を作る

幼稚園児から12年生の保護者のためのガイド



BRITISH
COLUMBIA
The Best Place on Earth

一人ひとりができること

生徒は自分の行動に責任を持つこと、そしてほかの人の権利や安全が脅かされたときははっきりと意見を述べましょう。

父母および家族は、他人には思いやりを持って接する、友達と仲良くする、怒りをコントロールする、自分自身や他人を弁護するために好戦的な態度をとらずにはっきりと意見を述べることなどを教えましょう。

また、子供自身や友達が危険だと感じたときには助けを求めて行ける場所を、子供たちに教えましょう。

子供たちの言うことに積極的に耳を傾け、不安なことがあれば打ち明けられるように勧めましょう。子供たちは悩み事を話したくないことがあり、また問題を特定したり、問題について自分の気持ちを言葉で表現するために助けを必要とすることがあります。

父母の方は問題を解決するために学校と協力しましょう。

学校は、生徒としての行動とは何かを明確に定め、それを伝え、徹底し、また生徒に自分の行動に対する責任を負わせます。

教師は、学校への貢献、問題の平和的解決、多様性の重視、人権擁護など社会的に責任ある行動の見本を見せ、指導し、奨励します。

学校は、学校行動規範に述べられている生徒に期待される行動を徹底し、積極的に促進します。



健全な学校環境の中では、生徒も大人も帰属意識を抱き、さらに前向きで協力的な方法で気持ちを通じ合うことができます。

生徒は温かく迎え入れられ、支えられていると感じて安心すると、学習にいつそう身が入ります。

学校行動規範

学校の行動規範には必ず行動に関して期待する事柄を明確に記載し、また容認できない行動に対して年齢相応の成り行きを説明しなければなりません。

容認できる行動例

- 自分自身、他人、学校を尊重する。
- 意味のある学習に身を入れる。
- 学校の名誉になるような形で行動する。
- いじめ、嫌がらせ、脅迫が起こっていることを(できれば事前に)「話すことのできる」大人に直ちに知らせる。

容認できない行動例

- 他人の学習の邪魔をする。
- 秩序を乱す。
- 学校もしくは運動場で危険な状況を作り出す。
- 面と向かってまたは電子メールなどでほかの人をいじめたり、嫌がらせをしたり、脅かす。
- 通報した人物に対して乱暴行為または仕返しをする。

いじめ、嫌がらせ、脅迫の例

- 悪口、嫌なからかい、あざけり。
- たたく、ぶつ、つねる、殴る、蹴る。
- 狭いところに閉じ込める。
- 不快な触り。
- 人種差別的または同性愛嫌悪の中傷。
- 脅迫メモ、脅迫状、脅迫Eメール、脅迫電話、脅迫ゴシップ。
- 言葉、行動、武器、または落書きによる脅迫。
- うわさ、ゴシップの流布、または仲間はずれにする。
- 脅迫的または侮辱的な落書き。
- ストーキング、ゆすり。

生徒に期待される行動が明確に表明され、理解されている学校では、いじめ、嫌がらせ、脅迫はめったに起こりません。

学校には、生徒の社会的責任を強化するための取り組みの指針となり、校内の雰囲気改善に役立つツールがあります。BC Performance Standards for Social Responsibility [BC州社会的責任の実施基準]は教師を始め生徒や家族に、下記の4つの分野で一般的にBC州の学校が期待する生徒像の育成について説明しています。

1

教室と学校の活動に貢献する

- 仲間はずれにしない、フレンドリーで、親切かつ有用な人物になる。
- クラスのアクティビティに進んで参加し、協力する。
- 割り当てられた以外の事を自発的にする。

2

争いを平和的に解決する

- 気持ちを正直に表現し、怒りの気持ちを適切にコントロールし、相手の意見を尊重しながら聞く。
- 思いやりを見せ、見解の相違点を考慮する。
- 平静な態度で人間関係の問題解決に努力し、いつ大人に助けを頼むべきか心得ておく。

3

多様性を重視し、人権を擁護する

- 他人を公平に尊重した態度で扱い、先入観にとらわれず倫理にかなった態度をとる。
- 不公平を正す関心を見せ、多様性を支持し、人権を擁護する意見を述べ、行動をとる。

4

民主的権利と責任を行使する

- 責任感の高まりを見せ、学校規則に従う。
- コミュニティ志向感を見せ、個人的な行動に対する責任を示す。
- 世の中を改善するための行動をとる。